

オーサカキング2004とその情報インフラ構築について



企業レポート

塚田 清志*

Osaka-King 2004, a Summer Festival in Osaka Castle Park,
and its Information Infrastructure

Key Words : festival Osaka Castle wireless VoIP

1. はじめに

毎日放送は、2004年盛夏に「オーサカキング2004」を開催した。関西のランドマークである大阪城を核に関西活性化を目指し放送局が先頭を切って推進した夏祭りであり、毎日放送グループが一丸となって取り組んだイベントである。ここではイベントの概要とそこで構築した情報インフラについて紹介する。

2. イベント概要

2.1 開催目的

オーサカキング2004は次の5つの目的・意図を持って開催された。

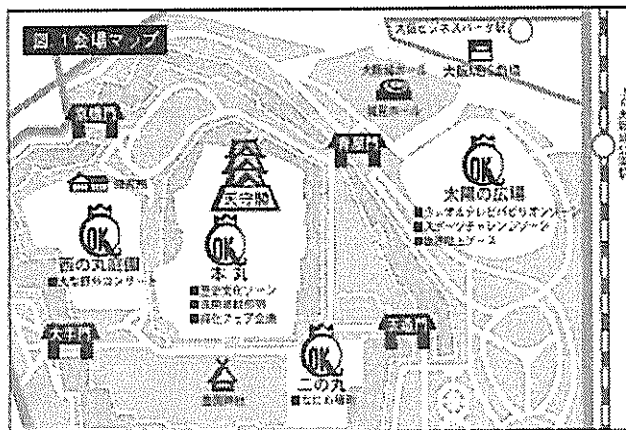
1. 大阪の活気と賑わいを取り戻す
2. 大阪の夏を彩る「あたらしい祭りの創造」で、新たな人々の交流を生み出す
3. 「もっと大阪を！」をスローガンに、パワーアップした大阪の魅力を内外にアピール
4. テレビ・ラジオの番組、イベントの人気ソフトを一同に集め、トータルショーケースとする手法
5. 「シンボルとしての大阪城」を舞台＝歴史・文化資産の再認識と大きなインパクトを内外に与える

2.2 開催概要

イベントの開催概要は以下の通り。

- 正式名称：MBS大阪夏王 オーサカキング2004
- URL：http://osakaking.com/
- メインテーマ：もっと、大阪を！
- 開催期日：2004年7月31日(土)～8月8日(日)
 - ◇ 7月30日(金) プレスレビュー及び関係者内見会
 - ◇ 開場時間 / 午前9時～閉場時間 / 午後9時
- 開催場所：大阪城公園内本丸、二ノ丸、西ノ丸庭園及び、太陽の広場など
- 主催：毎日放送
- 共催：大阪市
- 後援：大阪府、(社)関西経済連合会、大阪商工会議所、(社)関西経済同友会、(財)21世紀協会、(財)大阪観光コンベンション協会、毎日新聞社、スポーツニッポン新聞社
- 協力：サイバー関西プロジェクト、西日本電信電話(株)、シスコシステムズ(株)、TSP太陽(株)

2.3 会場ゾーニング



* Kiyoshi TSUKADA
 1957年3月生
 1979年大阪大学工学部通信工学科卒業
 現在、株式会社毎日放送、メディア開発局、デジタルセンター、デジタルセンター長、通信放送融合技術
 TEL 06-6375-7537
 FAX 06-6359-3505
 E-Mail tsukada@mbs.co.jp

会場ゾーニングの概要を図1に示す。各エリアの催事内容は以下の通り。

●太陽の広場エリア

◇テレビパビリオンゾーン

☆MBS番組パビリオン「テレビ大陸」

☆MBS番組飲食パビリオン「魔法の粉もんランド」(写真1)



写真1 魔法の粉もんランド

☆企業展示パビリオン「生放送の館」「キング体験館」

☆MBSテレビ&ラジオ屋台

☆2007世界陸上ブース

◇スポーツチャレンジゾーン(野球場)

☆キングスカップフットサルフェスタ

☆子供サッカークリニック

●本丸・天守閣エリア(写真2)

◇歴史文化ゾーン/テレビ・ラジオ番組屋台

☆「秘密の井戸? 特別公開

☆大阪城ミステリーウォーク

☆「水戸黄門」展

☆水戸大神楽公演



写真2 番組屋台で賑わう本丸エリア

◇山里丸

☆MBSアナウンサー おはなし夢ひろば「大阪城物語」

☆大阪城・特別景観ライトアップ

●二の丸エリア

☆なにわの横丁

☆日本の祭り・大阪の祭り大登城

●西の丸庭園エリア

◇情熱大陸ライブ SPECIAL LIVE Summer Time Bonanza(7・31)

◇久石譲&新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラ(8・1)

◇矢井田瞳 Summer Festival GIRLS TALK 2004(8・8)

●サテライト会場

◇大阪MBS劇場(ミュージカル「アイダ」公演)

◇水上バス(水上レストラン)

2.4 放送連動

会期中、特別番組として以下の番組を放送した。その他にミニ番組「大阪城でお祭りや!」などを連日放送、人気生番組「あん!」、「ちちんぷいぷい」、「せやねん!」などを通じて、イベントの見所や人気パビリオンの紹介、会場の賑わいを伝える生中継を連日行った。また、「大阪城で何すんねん」の開催告知テレビCMを大量投下し、デジタルデータ放送でもイベント告知情報を随時放送した。

ラジオ

8・1(日)10:00-13:00「大阪城で浜村キング」

8・7(土)11:30-15:30「ごめんやす馬場章夫のボラわーど・わくわく大阪城スペシャル」

8・8(日)10:30-11:30「浜村淳のだれも知らない大阪城のなぞ」

8・8(日)「YOUNG PARK&オレたちのヒロイン」(公開録音)

テレビ

7・31(土)11:58-17:00「開幕! オーサカキング しあわせそうなひととすいか&ひまわり祭り」

8・8(日)13:54-15:30「灼熱オーサカキング! みんなでバンザ〜イ!!!」

3. 情報インフラ構築

3.1 情報ネットワークの概要

全体のネットワーク構成を図2に示す。

会場では太陽の広場、本丸、大手門において、NTT西日本による100Mbpsの広域実験ネットワーク、Bフレッツ、フレッツADSLを用い、毎日放送本社、サイバー関西プロジェクト(CKP)堂島拠点との間のIPネットワークを構築した。各拠点のネットワーク機材はシスコシステムズから協力を得た。

太陽の広場では、本部やインフォメーションセンターなどの間をVDSL(Very-high-data-rate Digital Subscriber Line)にてテレビ中継用音声線や仮設銅線で結び、会場中央の休憩所までは無線ランブリッジ(Aironet1300)にて通信を確保し、それぞれに無線ランのアクセスポイント(Aironet1200)を設置して会場内の無線ランによるネットワークを構築した(写真3左)。無線ランの機器管理はWLSE(Wireless LAN Solution Engine)を使用した(写真4)。本部一中継車間は屋外用UTPケーブルで接続した。

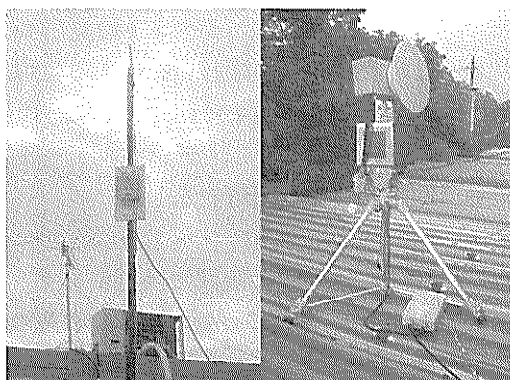


写真3 無線ランアンテナとTeraBeam

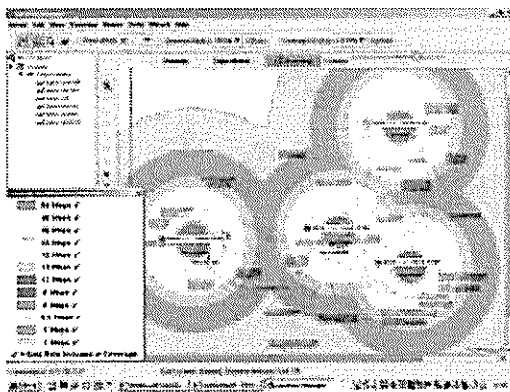


写真4 WLSE管理画面例

本丸エリアでは、広域実験ネットワーク(NTT西日本本社屋上)と本丸本部との接続に60GHz帯を使用した100Mbps無線ラン装置「TeraBeam」を使用した(写真3右)。会場内は太陽の広場と同様に無線ランおよびUTPケーブルにて通信を確保した。大手門のインフォメーションセンターへはADSLを使用しVPN接続を行った。

テレビ中継用映像・音声の伝送は、大阪城公園の北東にあたるホテルニューオータニの屋上と本丸および太陽の広場をそれぞれキャノビームで接続し、各地点の映像を太陽の広場ステージ裏に集め中継活動および情報発信に利用した。

3.2 サービスの概要

情報インフラを利用して以下のアプリケーションの運用を行った。

- 会場の混雑状況等を知らせるため太陽の広場ステージ、本丸ステージおよびホテルニューオータニ屋上のカメラ映像を随時ライブストリーミングにてインターネット配信した
- 33台のIP Phoneにより全エリアのスタッフ間音声通話をサービスした
 - 固定電話機20台を本部、インフォメーションセンター、ステージ裏サブ、中継車、本社等に配備
 - 無線ランによる携帯型電話機13台をスタッフに携帯させた
 - 本社内のインカム装置をパソコンによるソフトIP Phoneにて接続し、生中継の連絡バックアップ回線とした
 - 堂島拠点にINS1500回線を接続し公衆網にもゼロ発信で接続できるようにした
- 会場内のスクリーン用にWEBページを作成し、来場者向け情報サービスを実施した
- PC向け・携帯向けホームページを逐次更新した
- 会場スタッフ向けにパソコンを設置しインターネット接続を提供、さらに社内ランをVPN接続にて延長しメールサーバや伝票処理サーバへの接続を可能とした

4. おわりに

まさに大阪に「嵐」を呼んだ本イベントは、二つの台風直撃の難にもかかわらず、来場者421,751人を数えることができた。

本イベントは、大阪に賑わいと活気を取り戻そう、大阪の魅力を再認識して、自信を取り戻そうという主旨のもと、大阪を代表する歴史資産である大阪城を会場に、その価値を再認識する“大阪の歴史再発見”の軸と、地元大阪の放送局である弊社のあらゆるソフトを一同に集め、視聴者の方々によりダイレクトに親しんで頂きたいという“放送局のコンテン

ツショーケース”の軸の二本柱で会場内の企画を構成した。

次回「オーサカキング2005」は、今回の経験を十分に踏まえ多くの視聴者に受け入れられるソフトづくりを目指して、更に進化した毎日放送の真価をお見せできるよう努力して行きたい。

図. 2 **オーサカキング** ネットワーク構成図

